

## 平成25年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 倉元製作所  
 コード番号 5216 URL <http://www.kuramoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 柴田 哲

TEL 0228-32-5111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	5,862	14.0	220	56.1	197	53.8	263	41.4
24年12月期第3四半期	6,819	8.6	503	23.8	426	16.2	449	

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 302百万円 ( 34.0%) 24年12月期第3四半期 458百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	16.29	
24年12月期第3四半期	27.82	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	11,820	3,553	30.1	220.12
24年12月期	12,220	3,250	26.6	201.39

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 3,553百万円 24年12月期 3,250百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期		0.00		0.00	0.00
25年12月期		0.00			
25年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	10.0	200	63.4	100	75.6	150	59.2	9.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	16,143,170 株	24年12月期	16,143,170 株
期末自己株式数	25年12月期3Q	880 株	24年12月期	880 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	16,142,290 株	24年12月期3Q	16,142,290 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	2
4. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、アベノミクス、日銀のデフレ対策、円高の是正等により、緩やかながら景気回復が続きました。

このような環境の中、当社グループの〔ガラス基板事業〕は、スマートフォンやタブレット端末への過剰なる成長期待と実際の伸長との差に加え、業界のグローバル競争の更なる激化により受注が軟調に推移いたしました。また、〔精密研磨布事業〕は、パソコンの需要低迷等に伴うハードディスクドライブの在庫調整により、受注は伸び悩みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,862百万円（前年同四半期比14.0%減）に、営業利益は220百万円（同56.1%減）に、経常利益は197百万円（同53.8%減）に、四半期純利益は263百万円（同41.4%減）となりました。

#### 〔ガラス基板事業〕

ガラス基板事業においては、スマートフォン・タブレット端末の市場拡大により基板ガラスの研磨加工及びタッチパネル用成膜加工の受注は不安定ながらも伸張したものの、グローバル競争の激化と新規商品のリリースが当初予測とのズレがあり、パネル加工の受注が減少し、売上高は3,942百万円（前年同四半期比11.6%減）に、セグメント利益は245百万円（同12.8%減）となりました。

#### 〔精密研磨布事業〕

精密研磨布事業は、在庫調整が長引き受注が伸び悩みました。この結果、売上高は1,778百万円（前年同四半期比20.3%減）に、セグメント利益は123百万円（同63.5%減）となりました。

#### 〔その他事業〕

その他事業は、産業用機械製造販売等であります。同セグメントにおいては、石英事業から撤退した影響により、売上高は201百万円（前年同四半期比57.4%減）に、セグメント損失は173百万円（前年同四半期セグメント損失は83百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### （資産の部）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて400百万円減少し、11,820百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などにより422百万円減の4,154百万円に、固定資産は、その他有価証券の時価の上昇などにより22百万円増の7,666百万円となりました。

#### （負債の部）

負債は、借入金の返済、役員退職慰労引当金の取崩などにより702百万円減少し、8,267百万円となりました。

#### （純資産の部）

純資産は、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の欠損が縮小したため、302百万円増加の3,553百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

市場環境の不透明感はありますが、当社グループでは、得意先ニーズを的確に捉え、新たな付加価値のための技術構築に注力するとともにモノづくり力を一層強化し、今後の収益の確保に努めてまいります。

平成25年12月期の通期業績予想については、〔ガラス基板事業〕において、スマートフォンやタブレット端末への過剰なる成長期待と実際の伸長との差に加え、業界のグローバル競争の更なる激化により受注が軟調に推移し、また、〔精密研磨布事業〕において、ハードディスクドライブの在庫調整の影響を受け、受注が低調に推移したことにより、平成25年2月14日に公表いたしました業績予想を平成25年11月14日付にて下記のとおり修正しております。

#### （修正後の通期連結業績予想）

売上高8,000百万円、営業利益200百万円、経常利益100百万円、当期純利益150百万円

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （減価償却方法の変更）

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、過年度より抜本的な経営体質の改善及び収益基盤の強化を継続実施しており、当第3四半期連結累計期間においては、その効果があらわれた結果、第1四半期連結累計期間の損失を補い、営業利益220百万円、経常利益197百万円を計上するに至っており、収益構造の改善及びキャッシュ・フローの安定化が引き続き図られています。その一方で、取引金融機関に対する借入金の返済猶予の状況は継続しており、取引金融機関によって期限の利益の確保が短期にとどまっている状況となっております。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

そこで、当社グループは、当該状況を解消するための対応策として、ますます収益構造及びキャッシュ・フローを安定化すべく経営体質のさらなる改善を推し進めるとともに、それらを反映した事業計画を策定し、これに基づく借入金返済計画について取引金融機関からの同意を得られるように協議しております。その結果、全ての金融機関から返済計画に対する一定の同意が得られております。

以上を踏まえ、収益構造及びキャッシュ・フローの安定化と取引金融機関からの一定の同意が得られていること等を総合的に勘案した結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,449,149	1,141,902
受取手形及び売掛金	2,200,237	2,115,252
商品及び製品	117,602	165,049
仕掛品	268,615	253,464
原材料及び貯蔵品	276,866	204,188
繰延税金資産	219,431	211,476
その他	45,360	63,152
貸倒引当金	△320	△410
流動資産合計	4,576,942	4,154,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,336,209	2,247,732
機械装置及び運搬具(純額)	1,446,743	1,438,400
土地	3,458,305	3,458,305
その他(純額)	109,111	106,709
有形固定資産合計	7,350,369	7,251,148
無形固定資産	78,433	80,350
投資その他の資産	215,209	335,209
固定資産合計	7,644,013	7,666,707
資産合計	12,220,955	11,820,783
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	549,727	495,053
短期借入金	4,655,422	4,484,104
1年内返済予定の長期借入金	352,340	270,440
未払金	447,108	570,208
未払法人税等	62,100	18,972
営業外支払手形	42,857	28,424
その他	155,315	187,105
流動負債合計	6,264,871	6,054,308
固定負債		
長期借入金	1,973,020	1,873,244
繰延税金負債	17,901	39,021
退職給付引当金	105,481	115,218
役員退職慰労引当金	506,339	99,827
その他	102,375	85,988
固定負債合計	2,705,117	2,213,300
負債合計	8,969,989	8,267,608

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,885,734	4,885,734
資本剰余金	6,335,992	6,335,992
利益剰余金	△8,003,598	△7,740,596
自己株式	△411	△411
株主資本合計	3,217,717	3,480,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,248	72,454
その他の包括利益累計額合計	33,248	72,454
純資産合計	3,250,965	3,553,174
負債純資産合計	12,220,955	11,820,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,819,850	5,862,592
売上原価	5,443,583	4,740,240
売上総利益	1,376,267	1,122,351
販売費及び一般管理費	872,896	901,381
営業利益	503,370	220,970
営業外収益		
受取利息	1,381	1,215
補助金収入	62,281	83,605
その他	27,571	34,197
営業外収益合計	91,233	119,018
営業外費用		
支払利息	146,492	125,201
その他	21,520	17,586
営業外費用合計	168,013	142,788
経常利益	426,591	197,200
特別利益		
固定資産売却益	—	17,163
投資有価証券売却益	—	6,019
役員退職慰労引当金戻入額	—	74,036
補助金収入	135,037	—
特別利益合計	135,037	97,219
特別損失		
固定資産売却損	—	403
固定資産除却損	596	834
減損損失	30,629	—
たな卸資産評価損	24,620	—
特別損失合計	55,846	1,237
税金等調整前四半期純利益	505,782	293,182
法人税、住民税及び事業税	63,849	22,525
法人税等調整額	△7,217	7,654
法人税等合計	56,631	30,180
少数株主損益調整前四半期純利益	449,150	263,002
四半期純利益	449,150	263,002



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	449,150	263,002
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	8,925	39,206
その他の包括利益合計	8,925	39,206
四半期包括利益	458,075	302,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	458,075	302,208

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガラス基板	精密研磨布	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,461,144	2,131,602	6,592,747	227,102	6,819,850	—	6,819,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	100,488	100,488	245,164	345,653	△345,653	—
計	4,461,144	2,232,091	6,693,236	472,267	7,165,503	△345,653	6,819,850
セグメント利益又は損 失 (△)	280,971	338,264	619,235	△83,821	535,414	△32,044	503,370

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石英事業、産業用機械事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△32,044千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガラス基板	精密研磨布	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,942,684	1,735,343	5,678,027	184,564	5,862,592	—	5,862,592
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	42,901	42,901	16,501	59,402	△59,402	—
計	3,942,684	1,778,244	5,720,928	201,066	5,921,994	△59,402	5,862,592
セグメント利益又は損 失 (△)	245,076	123,299	368,375	△173,167	195,208	25,762	220,970

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額25,762千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。